

1. 件名:公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターの核燃料物質使用変更許可申請に係る面談
2. 日時:令和4年6月24日(金)10時00分～11時40分
3. 場所:原子力規制庁10階南会議室 ※TV会議により実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
榎見主任安全審査官、矢野安全審査官
公益財団法人核物質管理センター
東海保障措置センター 東海検査部長 他4名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 提出資料
 - ・核燃料物質使用変更許可申請書へのコメント回答及び補正方針(東海保障措置センターにおける質量分析計の更新について)
 - ・東海保障措置センターにおける質量分析計等更新後の耐震分類の設定について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	これは原子力規制庁ヤノでございます本日は核物質管理センター東海保障措置センターの前田編、管理部使用の計画許可の変更申請の面談の回答の面談ということで
0:00:17	資料にも、前回の面談で質問した内容について資料に基づいて回答いただけるということで、面談をさせていただければと思います。
0:00:27	なのでいただいている資料について福祉施設管理センターの方からご説明をよろしく願いいたします。
0:00:37	はい。核物質管理センターの長井です今回、以前までいただいたコメントにつきまして、その回答と今後の補正の方針について説明資料をもって説明させていただきます。
0:00:52	では説明させていただきます。まずですね、
0:00:57	資料の核燃料物質使用変更許可申請書へのコメント回答及び補正方針という資料。
0:01:05	について先にご説明させていただきます。
0:01:09	まずですね、共通編の方で記載があります通り、一番から、
0:01:16	10、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:18	2番、あと別添資料の欄がありますが、この中でですね、5番の予定使用期間及び年間予定、予定使用料の部分につきましては、して偽計ご質問等で使用期間を3年ごとの更新の変更をすることを検討することというので、
0:01:37	我々としていたしましては3年ごとの更新に変更いたします。予定試用期間を、直近3年間となるように変更させていただこうと思っております。
0:01:47	補正方針といたしましては共通編の表の1のあります通り、
0:01:54	10日後センター全体における予定使用料、使用期間及び年間予定使用量のうち、予定使用期間のところ、
0:02:03	時価変更人、
0:02:06	許可された日から令和7年3月31日まで、こういうふうに補正をさせていただこうと考えております。
0:02:14	続きまして六、七、
0:02:17	八、九は変更ございません。中ですね、表題の題目の部分についてはですねちょっとこれが誤記がございましたので主要施設等という形で、
0:02:28	修正させていただきたいと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:31	同じくですね 11 の閉じ込めの機能、遮へいその他の事項に関する使用施設、貯蔵施設及び廃棄施設の位置構造及び設備ということで、
0:02:42	ここはですね以前、質問がありまして別冊 1 の保障措置分析等及び、
0:02:51	開発試験と別冊 2 開発検討にそれぞれ 11 項目がございませんでしたので、11 項目を追記いたしましてその表記の部分につきまして共通編ではですね、当館のセンター内の各施設における
0:03:07	閉じ込め機能、遮へいその他事項に関する使用施設、貯蔵施設及び廃棄施設の位置、
0:03:13	構造及び設備を下記の別冊に示すということで、もともと別冊 3 しかございませんでしたが今回、
0:03:21	別冊 1 に補助分析等、
0:03:24	別冊 2 開発試験等を新たに地域する予定でいるという形で補正を行いましたと考えております。
0:03:34	同じくですね、中に添付資料を原子力原子炉等規制法施行令第 32 条第 2 項に定める書類のうち、12 のうち、主要施設等の位置構造及び
0:03:48	設備の基準に関する適合性に関する説明書、
0:03:51	事故に関するも除くというところにもですね、同様に別冊 1、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:57	補償の分析等、別冊に関し検討という形で12の1項を追記、追記、追加して補正を行いたいと考えております。
0:04:07	それぞれ別冊3、新分析等の12の1項に合わせて記載する予定としております。
0:04:13	これもですね先ほどと同様に別冊1、2ヶ所分析等、別冊に開発検討という形で修正し補正をする予定としております。
0:04:25	同様に、12-2、想定される事故の種類及び程度並びにこれらの原因または事故に応ずる災害防止措置に関する説明書
0:04:34	も同じくですね、別冊時補助処置分析等を別冊2、監視検討にそれぞれ12-2の方を追記いたします。新分析等の12の2項を記載内容を合わせて
0:04:47	修正し、追記する予定にしております。
0:04:51	12-32-4は変更ございません。
0:04:55	そしてですね、別添資料、今までは添付資料という名前載っていましたが、12年、12の項の添付資料との混同を避けるため、
0:05:05	すべての添付書類をですね、別添資料ⅠⅠ1234という形で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:12	表記を見直したしまして、別添資料 1 が変更に係る核燃料物質の使用 ん
0:05:19	に必要な技術的能力に関する説明書、書類ですねすみません別添書類で すね。
0:05:25	1 が変更に係る核燃料物質の使用に必要な技術的能力に関する説明書と いうことで、新旧対照表においてですね 27 組織体制見直しに係る記載 の適正化について、
0:05:39	説明を少し詳しく記載をするということで、今回ですね新旧対照表の組 織体制の見直しに係る基線適性が説明を
0:05:49	お見せ、見直しまして記載の適正化を行う予定にしています。これはです ね、監視検討の設備撤去終了時とが、組織体制の修正、担当課だった技 術課を削除し、
0:06:02	保安の業務分析に移管したということの項目を追記させていただきます す。
0:06:08	それぞれ別添書類 2 の障害対策書を別添処理、3 の安全対策、対策所の ですね、表記をそれぞれ別添書類という形に修正させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:22	最後にですね、別添書類 4 の方に、新分析棟プルトニウム質量分析室における必要分設計及びグローボックス J P 120 D B チーズロビーの撤去に係る安全性について、
0:06:36	これを添付書類、A 点、
0:06:38	別添書類 4 という形で載せる予定としております。
0:06:42	この質問はですね、ドラム缶と廃棄物コンテナについて耐火性のあることを記載して欲しいということで、これにつきましてはですね、
0:06:52	物件書類 4 部をその書類の中につきまして 4-3 の (3) のところにですね、表記の耐火性について、以下のように追記する予定としております。
0:07:04	なお、200 リッタードラム缶及び廃棄物コンテナ材質は支店別整備は兼田栄華店にリッターカーと没水とは、
0:07:14	鋼製のカートン保管用保管用金属容器に保管することから、縫製答え率を収納する容器は、耐火性有するというふうな形で記載を追記し、補正をする予定としております。
0:07:29	続きましてですね、別冊 1 の補償分析等という形で 4 ページの方に移らさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:37	これもですね先ほどの共通編と、
0:07:40	同じところもありますが、続いて説明させていただきます。
0:07:44	まずですねこの予定使用期間及び年間予定使用料につきましては、使用予定期間を3年ごとの更新に変更することということで、表5-1の予定し、
0:07:56	試用期間のところをですね、令和7年3月31日という形で修正し、補正をする予定としております。
0:08:04	10、10の項目の表記の誤記を修正させていただきます。
0:08:10	また11項目、12項目は共通編で詰めた通り通り、
0:08:17	11項目、及び12-1、12の項目をすべて追記して休診分析等の記載内容に合わせて修正する予定としております。
0:08:30	12-2を想定される事故の種類及び程度及びこれら原因または事故に応ずる災害防止措置期間説明書ということにつきましてはですね、
0:08:40	12-2を項目を以下のように記載させていただこうと考えております。 等価保証センターの保証付等における、使用施設等の
0:08:50	想定される事故の処理及び程度並びにこれらの原因または事故に応ずる災害防止をする時間説明書、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:57	別冊維持保証付尾関等安全対策所に示すという形で記載を修正し、補正を行います。同じく、12-3の核燃料物質の使用に必要な技術的能力に間説明書につきましては、
0:09:13	統括部長センター共通編、別添1より1、
0:09:18	変更に係る燃料物質の使用に必要な技術的能力に関する説明書に記載の通り、
0:09:24	いう形で、新分析等の記載と同様な形に、
0:09:28	修正させていただきます。
0:09:31	12-4、使用施設等の法案のための業務に係る品質管理必要な体制整備に関する説明書ですが、別冊3の新分析等の12年の4の項目と同様の部門を記載いたします。
0:09:44	ここは、保証部石等共通編12年4項に記載の通りという形にいたします。
0:09:52	そして障害対策所は、別添、別添書類1という形で記載をさせていただきます。注釈表2-1に注釈がきた、いないため記載のことというこ とで、
0:10:04	表2-1に執着を記載させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:08	表2の専用機管理基準につきましてはですね、内容は一緒ですけども、 注釈で、西不能と診断されたものを、及びそのものの副センター長等妊 娠の意思のない旨を書面で、
0:10:23	申し出た者を除くというふうな記載をさせていただきます。
0:10:27	そしてですね、2.2. 3項の評価議案示すを返す。
0:10:33	の説明に誤記がありましたので、ファン室、
0:10:37	A4に修正させていただきます。
0:10:40	この2、2.3をですね評価結果の部分で、語感室としか書いてなかった。
0:10:48	ので(4)、
0:10:50	す、ちゃんと書いた、申し訳ありません。保管室(3)と書いてありま したが、ここは保管室(4)が新しく、後期になりましたので、その 部分で修正させていただきます。
0:11:03	その結果は変更ありませんが、表記の部分ですね、延期場所の表記の部 分で(4)という形で修正させていただきます。
0:11:14	として別添書類2の安全対策所。
0:11:18	部分もですね、今までの添付資料は添付書類ではなくて、別添書類とい う形で修正させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:27	引き続きまして、開発試検討別冊の方ですけども、ここにつきましてはですね、
0:11:34	新分析等級分析補助分析等と同じく、変更箇所ですね、中の使用施設等の部分の誤記の修正と、
0:11:45	12-2の項目の部分です。別冊の監視検討12の2項をですね、統括とセンターの開発等における、
0:11:54	主要施設等の想定される事項の処理及び程度並びにこれらの原因または、事故に応ずる災害防止の措置に関する説明書を別冊に。
0:12:06	開発試験等安全対策書に示すという形で期待をさせていただくことを考えております。
0:12:13	そして12-3ですけども核燃料物質の使用に必要な技術的能力に関する説明書ですが、これも往診分析と同様に、統括センター共通編、別添処理位置の変更に関わる、
0:12:28	核燃料物質の使用に必要な技術的能力に関する説明書に記載の通りに修正させていただきます。
0:12:36	12-4、主要施設等の保安のための業務に関わる品質管理に必要な体制の整備に関する説明書

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:44	別冊 3 の新分析と同様に、投函補助センター共通へ、12-4 の方に記載の通りという形で、修正させていただきます。
0:12:55	同じくですね別添書類 1 の障害対策所も、先ほどの別冊 1 の補助分析等と一緒に同様に、表 2-1 線量の管理基準のところですね、
0:13:07	注釈を記載させていただきます。
0:13:10	認知不能と診断されたもの、及びその後のもの、所属する課長等に因子なりしない旨を書面で申し出たものを除くという形で
0:13:21	注釈を記載させていただきます。
0:13:24	安全対策書も別添書類という形、レジデンシャル 2 という形で
0:13:29	題目、
0:13:31	表記を修正させていただきます。
0:13:35	次にですね、別冊 3 の新分析等の
0:13:40	項目 8 ページに移ります。
0:13:43	まずですね、英語を予定使用期間及び臨界の徹し要領につきましては、別冊 1 別冊 1 同様、
0:13:51	予定試用期間をですね、3 年ごとの方針という形で表 5-1 の予定書期間を令和 3 令和 7 年 3 月 31 日と修正させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:04	次にですね 7 核燃料物質の主要施設の位置、構造及び設備ですけども、塗膜の難燃性と材剤対応を具体的に記載することを、質問がございましたので、
0:14:16	これを何名で実施と記載がありましたものを、ポリカーボネイト実施というふうに修正させていただきます。
0:14:23	7.3 使用施設の設備のところの資料につきましては、更新するグローブボックスについてはポリカーボネイト実施というふうに修正させていただきます。
0:14:37	次にですね、9、核燃料物質または核燃料物質によって汚染されたものの廃棄設置施設の位置構造及び設備ですけども、
0:14:46	これにつきましては、原子力規制委員会告示 7 号、5 次 8 号に修正をしてくださいという質問がございますので、
0:14:55	報告時 8 号に修正いたします。
0:14:58	該当する部分は、9.1-1、液体廃棄施設の 1 の中にあります。
0:15:05	核原料物質または核燃料物質の政令の事業に関する規制規則等の規定に、
0:15:12	に基づく線量限度等を定める告示、これにつきましては、平成 27 年の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:18	原子力規制委員会告示第 8 号に修正させていただきます。
0:15:24	次に 9.2-1 ですけれども、液体廃棄施設の 1 にあります通り、廃棄貯槽から排水するときは、廃液中の方生物濃度を測定しその辺りが、
0:15:37	平成 27 年原子力規制委員会告示第 8 号に規定するという形で修正させていただきます。
0:15:46	II、また 10 の項目の、使用施設等の保安ための業務に係る品質管理必要な体制の整備に関する事項は、
0:15:54	使用施設等の部分を修正させていただきます。
0:15:59	次ですね 11 項の閉じ込めの機能者その他の事項に関する使用施設貯蔵施設及び、
0:16:08	廃棄施設の位置構造及び設備につきましては、質問に、閉じ込め、 (1) 閉じ込めについては、衛生等は期待設備に接続されたことを記載すること。
0:16:20	必要分析計とじ込み機能についてを記載すること。これにつきましては ですね、衛生等は基幹施設に接続されていくと記載させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:29	必要分析計はグローボックス接続して使用することを記載させていただきます。
0:16:38	これはですね、後程この説明の文章を、あとですね、別紙 11 項の修正及び記載内容という紙でございますので、そちらの方でちょっと詳しく説明させていただこうと思います。
0:16:50	次にですね遮へいにつきましては、線量評価結果を記載し、社員能力を有することを示すことということで、
0:16:57	線量結果等を記載させていただきます。
0:17:01	(3) 火災、火災警報、消火設備は、消防法に基づいたものと確認のこと。
0:17:09	セル等は何を示すのか、また、収益経営の具体的な材料の具体名を記載のこととあります。
0:17:17	まずはですね、火災については消防法に基づいておりその旨を記載させていただきます。
0:17:23	セル等の本等につきましては、ホットセルグローブボックス及びフードを示します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:29	修文成形のグローブボックスを設置取得する、4限等についてはですね、
0:17:35	必要分析計の遅第5号にステンレスアルミニウム、津波区画の不燃材料により構成されておりますので、それを記載させていただきます。
0:17:48	次に、立ち入りですけども、管理区域はどのように食う隠されているのかを記載すると、してくださいということで、管理区域の区画方法について記載をさせていただきます。
0:18:01	次に施設検査対象施設の地盤、使用前検査対象施設に修正をしてください。
0:18:09	以下、同様に修正を行ってくださいということでこの部分につきましてはいですね、施設検査対象施設を使用前検査対象施設に修正させていただきます。
0:18:19	他も、以下も同様の形で修正を行います。
0:18:24	新分析棟の耐震重要度分類について規格人のことということで新分析等の例えばBクラスの施設であることを記載させていただきます。
0:18:34	不法侵入ですけどもサイバーテロへの対策
0:18:39	はされているのかを確認してくださいということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:42	サイバーテロ対策等について記載させていただきます。
0:18:47	重要度に応じた安全機能の確保ですけれども、安全上重要な施設以外の要求事項を記載してくださいということでこれも安全上重要な施設以外の要求事項を記載させていただきます。
0:19:01	使用前検査対象施設の大きい共用につきまして、安全対策所で説明されている総合監視盤は共用に該当するのを確認してくださいということで、
0:19:13	同センター内の他の使用施設との共用ないことを記載させていただきます。
0:19:19	これにつきましては、事務と総合版への給電も行っているというふうな形で追記の記載をさせていただきます。
0:19:28	貯蔵施設及び廃棄施設の保管能力、容量が十分であることの説明をしてくださいということで、それぞれの容量が十分であることについて記載させていただきます。
0:19:41	これらにつきましてはですね、後程別紙の方で説明させていただきますので、次に、の部分での説明させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:52	次に、12-1、使用施設等の位置構造及び設備の基準に関する適合性に関する説明書ですけれども、
0:20:00	11年を除くとしてハザードマップですね、旧の津波ある損傷の防止ということで、自治体、東海村ですけれども自然災害のハザードマップのうち、津波ハザードマップを
0:20:16	及び洪水土砂災害ハザードマップを示しまして、これらのセンターがあそこに該当するような場所がないということ、で、
0:20:26	説明させていただこうと思っております。
0:20:30	また22の貯蔵施設ですけれども
0:20:35	新分析と猪飼料貯蔵室に核燃料室が京急であり、その合計容積としては9.78立米の貯蔵能力があることから最大収納量の核燃料物質を貯蔵するために、
0:20:49	必要な容量を有すると記載させていただきます。
0:20:53	廃棄施設につきましてもですね、新分析等廃棄物貯蔵室の床面及び必要席は、
0:21:01	21平米及び105立米であり、固体廃棄物7立米、20リッター専用容器150個及び200リッタードラム缶20個を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:11	一時保管でき、することができるという形で記載させていただきます。
0:21:18	12-2 につきましてはですね、新分析等、当課附属センターの新分析等における、
0:21:25	使用等の想定される事故処理及び程度並びにこれら原因または事項に ずる災害防止措置に関する説明を、
0:21:34	別冊 3、新分析等の対策、安全対策所に示すというふうな形で記載 させていただきます。
0:21:42	次にですね、障害対策所につきましては別添書類 1 という形で書かせ させていただきます。
0:21:51	また、別冊 1 及び別冊 2 の障害対策所、被ばく管理の基準に関する ですね、
0:21:58	表 2-1 線量の管理基準と同じ表を、別冊 3 の新分析等の障害対策所の 前提条件にも加えて修正させていただこうと考えております。
0:22:10	それが最終ページですね、3-1 前提条件という形で、このように表とい う形で作業員に関わる全量の管理基準を、
0:22:21	を示しまして、この管理基準を超えないように管理するという形で記載 させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:28	最後の安全対策書もですね、別添書類にという形で
0:22:34	書類名の表記を修正させていただきます。
0:22:39	以上が、コメントに対する回答方針補正の方針ということで、
0:22:45	引き続きまして次の書類の説明に移らせてよろしいでしょうか。
0:22:53	限局性 S a a S 別紙のことだと思いますので続けて 11 項の話だと思いますので今のに続けて説明いただければと思います。
0:23:03	わかりました核物質管理センターの中で、引き続き、別紙 11 項の修正及び記載内容について説明させていただきます。
0:23:13	まずですね、一番、
0:23:16	左側が c 令和 4 年 5 月の申請時に出て、
0:23:20	申請した内容となります。
0:23:23	そして新分析等の部分につきましては、新たに追加修正する箇所を下線で示させていただいております。
0:23:33	また、補足分析等々の開発検討についてですね、丸々対新規追加のため下線についてはですね、省略させていただきます。
0:23:43	では説明させていただきます。(1)、とじ込み機能ですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:49	新分析等の部分につきましてはですね、ホットセルグローボックス本体の材質をステンレス小松材をメタクリルし、
0:23:57	更新するグローボックスまたはポリカーボネイトを用いて、気密構造とし、
0:24:03	という形でですね素材の名称そして北崎設備の1系統の連結のことを最終的に、
0:24:12	待機をするまでの流れをですね、追記記載させていただきます。
0:24:19	また、貯蔵施設につきましてもですね、金属条件収納施設方向に貯蔵するまでの部分を記載させていただきます。また、固体廃棄設備も
0:24:31	β γ レファア。
0:24:34	廃棄物に分類して最終的にドラム缶容器の
0:24:38	部分に分局を封入梱包し自動化すると。
0:24:43	いう形で
0:24:45	気密性も含めてですねその部分の記載をさせていただきます。
0:24:50	また旧補助分析等開発検討もですね、貯蔵庫の部分の記載をさせていただいて、町道して後、貯蔵すること、あと堀田駅線として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:03	5ヶ月1から4までを、があってその中の当該保管しておいて一時保管すると。
0:25:09	音、
0:25:11	特にグローブボックス等が撤去されておりますのでこの職責等についてはですね、期待設備、液体設備を有しないというふうな記載をさせていただきます。
0:25:21	監視試験等もですね、これも答え施設が主ですので、
0:25:25	すでに答え物の保管廃棄を行っているというふうな形で記載させていただこうと思っております。
0:25:34	次にですね、遮へいですけども遮へいにつきましてはですね、グローブボックスオートセイのエース。
0:25:42	厚み等を用いて遮へいを行います。
0:25:45	また資料のちょ、貯蔵室をですね遮へいを行っております。厚み等の部分で記載がありましてこの部分の記載をさせていただきます。ここまでは一緒ですけども、
0:25:58	大瀬業務従事者の被ばくにつきましては、その被ばくが、の評価の方法を、その下の以下の部分で記載させて

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:10	評価方法は基本的にオリゲンを用いて計算して評価した結果が記載されております。この中で、評価企画室いたしまして、それぞれの各分析室で
0:26:23	です。行う調査における実効線量は 2.4 B C 率でございますので、縫製業者線量限度を下回る値で十分に下回っているということで評価しております。
0:26:37	また資料貯蔵室の管理区域境界における線量につきまして能勢つきましても、同様の評価を行うという形としております。
0:26:47	その結果ですね、
0:26:49	その表 2-6、その部分の評価条件といたしまして特殊倉庫が明日厚さ 1 センチの鉄
0:26:59	あとは
0:27:00	L 型以外貯蔵の渥美 1.2 センチの鉄などの条件を入れ、記載させていただきまして、
0:27:08	最終的な結果は管理経費評価における線量は 0.000, 09 m S v。
0:27:16	3 月ということでございまして、これは管理経験を管理区長会にかかる線量限度 1.3 m S v、3 月を下回るということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:27	異常な嘉門。
0:27:29	問題となるレベルではないというのが、評価することができます。
0:27:35	同様に補助全席等につきましてもですね、同様の謝礼条件等々を記載させていただいております。
0:27:43	これにつきましてもですね、放線業務従事者の被ばくについての評価を行いまして、その評価結果をですね、
0:27:53	表2のように示しておりますが、貯蔵後の貯蔵結果表、線量の評価期間といたしましても、
0:28:02	0.56mSv、いや、ございまして、大瀬業務者の線量限度50mSvワイヤを下回る値となっております。
0:28:12	また書道法の管理強化の結線量につきましてもですね、評価を行いまして、
0:28:20	3月の実効線量が1.0mSvを3月を推定することができますので、線量限度を十分下回っていると、いうふうな評価をすることができました。
0:28:34	また開発検討ここにはですね、貯蔵がございませんが、法政固体廃棄物保管廃棄を行っておりますので、その部分からの被曝量の推移評価も行っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:47	放線業務諸費、被ばくにつきましては同様の評価結果オリゲンを使いまして評価をした結果、
0:28:54	実効線量 10m S v をでございます。これは段階の整理等の作業ですけども、これは法制業務者線量限度 50m S v を下回る、
0:29:04	という値で、問題ないレベルと考えております。
0:29:08	また、縫製。
0:29:10	廃棄物の廃棄物保管室の管理区域境界におけ線量も評価を行いまして、
0:29:17	出入口で一番高い値ですけれども、0.32 ミリシーベルトパー山つきというので、管理区域境界における線量限度、
0:29:26	1.3 ミリシーベルトパー3月を下回るということで、問題ないという結果として評価となっております。
0:29:35	以上のような形で評価結果者についての評価結果も記載をさしていただくこととしております。
0:29:44	次にですね火災による損傷の防止です。この部分につきましては、
0:29:50	木曾コメントをいただいた部分につきまして、
0:29:55	等、
0:29:56	可能な限り不燃性素材、または難燃性土台使用する、あと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:01	グローボックス等を接続して使用する必要分提携は、その末次だ4Kについて、ステンレス製、アルミニウム、セラミック等の不燃性、
0:30:12	材料が主に用いられているという形で記載させていただきます。
0:30:17	で、建屋の火災につきましては、消防法に基づき、火災感知器、熱感知器、煙感知器、あと火災警報設備及び、
0:30:26	粉末消火器を配備しており、管理区域内及び屋外に消火栓を持ち、
0:30:31	設けております。
0:30:33	またホットセルグローブボックスの消火設備として小型消火器を配置しております。
0:30:40	旧分析が補助金の適当につきましては、建物は大学、
0:30:45	建築基準法でも定める耐火構造及び不燃性素材で作られております。
0:30:50	建屋の火災につきましてもですね消防法に基づき、火災検知器、受信機、
0:30:57	OB粉末消火器を配備しております。
0:31:00	貯蔵庫はですね、香川ね生きた構成固体金属市岡ドラム缶はステンレス及び鋼製であり、
0:31:08	不燃性材料を用いております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:12	5章で分析等も、局長、
0:31:14	すみません、開発知見等もですね、補助の分析等と同じ内容の記載をしております。
0:31:23	次に立ち入りの防止です。
0:31:25	この部分につきましてはですね、
0:31:28	標識を付しているというふうな形にも、さらに細かく記載させていただきまして、
0:31:34	管理区域等にはですね、人がみだりに管理区域に立ち入ら立ち入らないよう、壁、柵等を設けて、各市許可の藤崎鎮目の標識、
0:31:45	これは次に準拠したものを設けております。
0:31:50	周辺区域境界にはですね、業務上立ち入る者以外がメディアに立ち入ることを制限するための柵を設けて区画するか、または、
0:31:58	周辺監視区域、許可なくして立ち入る禁ずる旨を記載した標識を設けております。
0:32:06	衛藤 9 補足分析等もですね、同様に、新分析等と同様の記載をさせていただきます。
0:32:13	開発検討も同様の記載をさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:18	(5) は飛ばしまして、(6) です。(6) の部分につきましてははですね、
0:32:24	新分析と、ではなくて本施設という形で記載させていただきます。
0:32:29	また、臨界に関して核燃料取扱分析業務を実施するというふうな形で少し追記させていただきます。
0:32:39	また、廃棄物同室において核燃料等大坪行うば行わないため、臨界にはならないということで、
0:32:47	さらに追記しております。
0:32:51	補聴器分析等につきましては、
0:32:54	貯蔵庫はですね、核燃料物質は搬送系といたしますので、金属系の必要性現地で怒る以下であることから、臨界にはならない。
0:33:04	また、堀田駅施設の保管室 1 階において確認料率の使用初動を行わないため、臨界にはならないというふうな形で記載させていただきます。
0:33:17	開発試験等は、町長放射性固体廃棄物の保管の施設でありますので、
0:33:23	核燃料物質の使用想像を行わないため、委員会に穴がない、記載させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:31	次、(7) 使用前検査対象施設の地盤ですけれども、ここの部分につきましてはずね、
0:33:39	新聞的等はそのままですがこの分析と開発試験等もその調査を行いまし て、接地圧、
0:33:50	調査分析等が 0.09 ニュートン%。
0:33:55	ホーム 2 メートル、監視検討は 0.34 ニュートンペーパー平方ミリメートルという形で、安全率を算出して、十分に保守しているという形で、この内容を追記して修正します。
0:34:09	次に、地震による損傷の防止ですけれども、
0:34:15	この部分につきましてはずね、
0:34:18	本施設の耐震設計は、核燃料施設安全審査指針及び発電用原子炉施設に関する、
0:34:26	耐震設計審査指針審査指針を参考にして建築支援法施行令第 88 条第 1 項に求める。
0:34:35	地震層前段せん断形成に重要度に応じた終わり、割増係数を乗じて行う。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:43	角田で機器の耐震分類及び割増係数を以下の通りという形で、次のページの表にあります通り、主要な部分はBクラスという形で、
0:34:55	表記をさせていただきます。
0:34:57	上記以深分析とは例えば、Bクラス施設であって、耐震設計はいずれも静的設計法で計算されており、
0:35:06	設備は、構造である、平均ニュートン値は32条の田力の、
0:35:13	砂像のおしり基盤で杭構造によって建屋を建設された。また、グループ電気設備等は耐震Bクラスで設計された。
0:35:24	いう形で記載したいと思います。
0:35:29	次、補助分析と開発検討の支援部署を本施設の耐震設計は建築計5台、
0:35:37	088条第1項の0H深層せん断
0:35:42	形成に割増係数を乗じて行う。
0:35:45	建屋に関する割増係数をいかん法律という形で、
0:35:51	一応ですね割増係数の値という形で記載をさせていただきます。
0:35:57	次にですね、津波による損傷の防止ですけれども、この部分につきましてはですね、ハザードマップは追記しますが、内容は変更なく、補助分析等と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:09	監視検討も新分析等同様の記載に修正追記させていただきます。
0:36:17	(10) の外部から商品損傷の防止もですね、記載内容の変更はございませんが、補償分析等から知見等も新分析と同様の記載にさせていただきます。
0:36:30	次にですね、使用前検査対象施設の人の不忘な進入等ということで、この部分につきましては新分析等で、
0:36:39	まず使用前検査対象施設ということで修正させていただくとともに、
0:36:47	補助、補助センターの使用前検査対象施設は、普通、保障措置分析等開発試験と帯信分析等であり、
0:36:55	使用前検査対象施設に対する第三者の不法な侵入施設内の人による確認 漁師の不法な移動または大賀ナガイ行為、爆発等の
0:37:06	不正な持ち込みを未然に防ぐため、
0:37:09	防止するため、周辺監視区域を設定し、これら区域へのダブDB管理を適切に行う。また、本施設に入構管理、適切に行う。
0:37:20	本施設の運転及び水温に直接使用するコンピューター或いは外部切断して使用する。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:27	また、コンピューター類を使用する場合は、保守等においてコンピューター上での
0:37:32	混入等を留意するという形で修正させていただきます。
0:37:36	この内容は、副長と布施木藤と同様な形でして、記載させていただきます。
0:37:42	そして監視検討につきましてはですね、
0:37:48	一番最後の方コンピューター類がございませんのでその部分を削除した形で返し検討は、記載をさせていただこうと考えております。
0:37:58	12の溢水による損傷の防止ですけれども内容については、新分析等には修正ございません。分析等は、
0:38:07	管理区域内に供給性する水道配管を撤去しておりますので、また、屋内消火栓を有しないという形で、溢水元とならないなりませんので、溢水による損傷が生じないというような形で記載させていただきます、
0:38:22	開発検討も、穂積の指摘等と同様な記載をさせていただきます。
0:38:28	次に、13化学薬品の漏えい損傷の防止です。これは新分析等保安施設という形で修正させていただく以外は変更ございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:39	補助分析等については、本施設において化学薬品取り扱いなく化学兵器の漏えいに損傷がないという形で、
0:38:47	附属分析等の記載と解し検討も、このような形で記載させていただきます。
0:38:54	14、被災飛散物による損傷の防止ですけれども、まずは、新聞世間の件につきましては新分析等本施設という形で修正させていただいて、
0:39:06	保障分析等々監視検討につきましては、
0:39:10	本施設内において、飛散物の要因となり得るヶ年生活海底機器等の取り扱わないというふうな形で記載させていただきます。
0:39:20	15、重要度に応じた安全機能の確保ですけれども、
0:39:24	ここの部分につきましては、核燃料物質の使用施設等における災害の防止上重要な施設の設計、
0:39:32	工事及び検査等については適切と見られる規格及び基準によるものとする。
0:39:38	関係法令等という形で、炉規法を含め、幾つかの法令によって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:44	準拠するという形で書いておりました、なお、安全上重要な施設は統括センターに存在しないというふうな形でただし書きを書かさせていただきます。
0:39:54	この内容と同様のものを保障分析等開発検討にも記載させていただきます。
0:40:02	16、環境条件を考慮した設計につきましても、変更はございません。
0:40:07	補助分析等々から試検討も、惜しん分析と同様の内容を記載させていただきます。
0:40:15	17、検査とオール設計につきましては、内容ですね、本施設の設計金、
0:40:22	設備、機器については、安全機能を確認するための検査及び試験並びに安全機能を維持するための保守及び、
0:40:31	修理ができる、できるような構造とする。また、定期試験検査を行い、必要な保守または修理を実施安全機能を維持するというふうな形で、
0:40:42	記載を修正させていただきます。
0:40:46	保障分析等につきましては、設備機器はございませんので、定期的に構造物の点検を実施しており、
0:40:54	必要な保守または修理を行うというふうな形で記載します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:58	これは倉橋県とも同様の記載をさせていただきます。
0:41:04	使用前検査対象施設の共用ですけれども、本、ここの記載内容につきましては、統括センターの使用前対象施設は、保証書分析等開発検討及び新分析等ではありますが、
0:41:18	他の市、他の主要施設と共用している設備はございません。
0:41:24	なお、非常用発電設備は、5施設内の事務所に設置されている総合監視盤にも今日給電されておりますが、十分な給電能力融資通りに新分析と安全加工所確保上、影響を与えることはないというふうな形で、
0:41:40	記載させていただきます。
0:41:42	保障分析等監視検討の部分につきましては、統括センターの使用前検査対象施設は、
0:41:50	保証人分析等監視検討新分析等であれば、3、主要主要施設と共用している設備はないというような記載をさせていただきます。
0:42:01	19 誤操作の防止です。
0:42:04	ここの部分の心分析との記載内容は変更ございませんが、
0:42:09	それぞれ分析等につきましては、本施設にグローボックスホットセル等の使用施設期待設備及び、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:17	液体廃棄施設はなく、副燃料物質の分析測定作業を行うため、
0:42:22	誤操作による事故異常はないというふうな記載をさせていただきます。
0:42:27	開発検討も、部長分析と同様の記載をさせていただきます。
0:42:32	20、安全避難通路等ですけども、規制内容に変更ございません。
0:42:37	保障の分析東海試検討も支援分析等と同様の記載をさせていただきます。
0:42:44	21、設計評価事故時の放射線障害の防止とあります。これにつきまして もですね、ちょっと、
0:42:51	新分析等は、誤記を修正してにおいても、修正させていただきます。
0:42:56	副長分析等につきましては、資本施設は核燃料社長どう。
0:43:02	及び、大勢答える他目的とした施設あり、
0:43:06	非密封の確認情報下取り扱い機を実施しないため、いかなる事故もあり えないという記載にさせていただきます。
0:43:14	監視検討は、本施設は法制答えず他目的とした施設1-の核燃料物質を 取り扱う業務を実施していないため、いかが事項起こりえないというふ うな記載をさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:29	22 貯蔵施設です。貯蔵施設の部分につきましては、一番最初のパラグラフを修正させていただきます。
0:43:38	貯蔵施設において最大収納量の核燃料物質を貯蔵するために必要な容量を有する貯蔵を設置していると、いうふうな形で、
0:43:48	記載させております。
0:43:50	これは腐食面積等と同様の記載を、
0:43:54	新分析等敷設面積等の記載内容は、新分析棟と同様の記載をさせていただきます。
0:44:02	開発検討につきましては本施設において貯蔵施設はございませんので本施設において貯蔵施設を有しない。
0:44:09	いう記載をさせていただきます。
0:44:17	23 の廃棄施設廃棄施設につきましては、告示の名称が間違っておりますので告示の修正を行います。
0:44:26	また、
0:44:27	はい。
0:44:28	きた廃棄物放出の積につきましては J A、国立研究開発法人原子力開発機構、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:36	の第1排水工に行うという形で、
0:44:39	5先を明記しております。
0:44:42	A区間液物はですね、一応、排出先ということで、
0:44:47	配給保管場所であるI Q所蔵室は、新分析において発生した5対16は するために必要な容量を有すると。
0:44:55	業績の容量の部分を記載させていただいております。
0:45:01	次はですね、補助分析等ですけれども液体、この施設については北崎設 備及び起点以下廃棄施設はございませんので、有しないという形で記載 させていただきます。
0:45:14	で、また廃棄施設に廃棄物につきましては、不燃性とかね整理区分し、 線量当量率または構成廃棄物の含有に応じて、
0:45:25	分類し、容器に封入梱包したものを、分析等の
0:45:29	小谷技師保安室に保管所に保管すると。
0:45:33	そのあと、保管室は、堀田駅物。
0:45:37	廃棄物をJAEA国立研究開発法人原子力研究開発機構原子力科学研究 所、伴施設までの間、一次評価するために必要な
0:45:48	容量を有しているというふうな形で記載させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:54	監視検討につきましては、一時保管で保管という形で、
0:45:59	本体記述も固体廃棄物は、すべて保管して配給関連式 1 から 6 までの部分でお伺いして、
0:46:08	おりますので、保管廃棄するために必要な容量を有する使用しているというふうな形で記載をさせていただきます。
0:46:16	24 号線を原則の設備ということで、新分析等の部分の記載はございません。既補助分析等は、本施設は、核燃料の貯蔵及び生田駅別の一次評価を目的とした施設であり、
0:46:31	プルトニウムウランを取り扱う分析作業を実施しない。
0:46:35	右非密封の核燃料施設取り扱わないため、汚染の恐れのある管理。
0:46:41	汚染の恐れがない。
0:46:42	管理区域であるというふうな記載をさせていただきます。
0:46:46	開発検討の部分につきましては本施設は、体験その他が一応目的とした施設、プルトニウムの取り扱う分析用作業を実施しない。
0:46:56	2 区の副燃料房取り扱わないため、汚染の前のとれない管理区域であるというような書き方をさせていただきます。
0:47:06	25 を監視設備ですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:09	この部分につきましてはなお書き年間の部分を修正させていただきます。
0:47:14	きたぎんとする場合は、待機所等における大気中の合成物の作成を行い、
0:47:20	濃度限度以下であることを確認します。
0:47:23	また、本施設により最終的に大きくされる排気は、スタッフダストモニターにより、排気中の生物等を連続かつ監視するとともに、定期的に測定試料取り出し、
0:47:34	構成物測定放出量を測定しますというふうな形で修正します。
0:47:40	不足分析等は、本施設の管理区域の線量当量率は、サーベイメーターにより定期的に測定いたします。
0:47:49	北崎堤及び北井設備を有しないため、排気中、
0:47:54	及び排水中の方生物濃度測定は行わないというふうな形で記載します。
0:48:00	これは開発試験等の内容と
0:48:04	基づきと内容を同じ形で記載を修正させていただきます。
0:48:09	26の非常用電源設備ですけれども往診分析等の記載は修正しません。
0:48:15	9補助分析等は、非常用電源、非常用電源設備融資。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:21	停電等の外部電源システムの機能喪失時に、火災の火災等の警報設備消火栓 通信連絡設備、
0:48:30	非常用照明等への電源を供給しますという形で修正します。
0:48:37	監視試験等につきましては、非常用電源設備有しないという形で、この 施設はですね、来た技術の保管廃棄を目的としてたり、
0:48:47	核燃料車収束を行っていないため、商用電源の停電により影響を受ける 方は、10月17という形で記載させていただきます。
0:48:58	27、通信連絡設備等です。ここの部分の修正ですけども、本施設には、 各種のモニター系を装置、通信連絡設備を設け、
0:49:09	設計評価事故時または必要時、同施設内の別の場所でも監視できるよう にするために、従事者に対し通報できるというふうな書き方で、追記さ せていただきます。
0:49:21	9、補足分析等々監視検討につきましては、非常用通信機器として、緊 急時電話回線及び、
0:49:29	ファクシミリ並びに携帯電話等を有していると、いうふうな形で記載さ せていただきます。
0:49:37	最後、28 大量の抗生物質を防止する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:41	事故の拡大の防止につきましては新分析等の内容を、
0:49:46	キューブ補助分析等と開始系統と同様の内容に記載させていただきます。
0:49:53	駆け足ですけれども別紙 11 項の手術記載内容について説明させていただきました。
0:50:00	最後に、耐震分類の説明について、最後説明させていただこうと思うんですがよろしいでしょうか。
0:50:10	原子炉規制庁の別所であれば続けてよろしくお願ひ。
0:50:15	はい。
0:50:16	最後ですね、質問がございました相関センターにおける必要分析等の更新、耐震棟の設定について、
0:50:26	説明させていただきます。
0:50:29	まずですね、必要分設計。
0:50:31	川瀬センターにおける成分設計等の更新作業につきまして、更新の概要ですけれども、当開発センターの
0:50:40	新分析等に設置している必要分析計の更新に伴いまして既設の集分析 1 台及びグローボックス依頼。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:48	を 2022 年度に撤去し、2023 年度から 2024 年度にかけて、新設の必要 分析等、
0:50:55	必要分析計系統を設置することにより交渉を行います。
0:51:00	既設の静分析計の必要分設計等の耐震分類は、現行の使用許可変更申請 書の別冊 3 の新分析と安全対策書に記載のある、
0:51:12	耐震分類 B クラスとして設計されておりました施設検査の合格を受けて おります。
0:51:18	新設の主要分析系統の耐震分類は、
0:51:22	既設と同様に、耐震分類 B クラス設計し、石尾前検査及び使用前確認を 行った後、
0:51:29	使用を開始する予定でございます。
0:51:32	この新設の必分析棟の耐震分類を B にする理由はですね、以下に示して あります通り、敷地周辺の一般公衆に対して著しい被ばくを与えないと いうことで、
0:51:45	その理由をもって、耐震 B クラスに設定するという事を考えておりま す。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:51	最大想定事故時の施設周辺環境の影響を、に示しておりますが、既設のグローブ水が同量の取扱制限量を設定させていただきます。
0:52:04	最大想定事故時発生時の周辺施設周辺環境に及ぼす影響を
0:52:11	現行の使用許可変更申請書の別冊3の新分析と安全対策書に記載している評価結果。
0:52:18	最大想定事故時の瞬間施設周辺環境に及ぼす影響を基に評価しております。
0:52:25	以下にその条件示させていただきます。評価対象となるプール取扱量は、
0:52:31	C分析等の質分析等の取り扱い量は、グローボックス稲取扱制限に合わせて、プルトニウムが1.01グラムといたします。その他
0:52:41	の条件は、許可上の安全対策所に示してる条件と同じ条件といたします。
0:52:47	その場合の一般報酬の被ばく線量の評価結果は、
0:52:51	5.4ヶ月10の-2mSvを評価し、
0:52:56	されましたので、この結果より、その新設のを必要分析系統の最大事故時発生したとしても、一般報酬に対し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:05	15名、被爆お召ウエイトを超えるようなことがないという評価をすることができましたので、
0:53:11	申請する必要分析計は耐震Bクラスで、十分と考えております。
0:53:17	以上が今回の面談に関する説明資料の説明となります。以上です。
0:53:25	職制上のやつ資料の説明ありがとうございました。それではいただいた説明に対して何点か確認をさせていただければと思います。
0:53:33	まず一番最初に説明いただいた補正方針のところのところ、簡単な確認なんですけど、
0:53:40	これまでの面談前回までの面談においてまた次、その資料の2ページ目の別添初日のところですね。
0:53:52	被災、組織の体制の見直しのところ、
0:54:02	の理由を了解いただいていると思うんですけども、これはこの中、今の変更の理由だけを見ると何か今回変えるように見えちゃうんで、
0:54:12	これまで聞いている話だともうすでに、
0:54:15	これらの変更を行っていてそれらの現行の組織改正の反映だというふう に我々は我々、私は理解はしているんですけども、そういう理解でよろしいですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:34	はい。核物質管理センター永井です。その認識で間違いございません。
0:54:39	現行の組織体制を反映させるという形で間違いございません。原則成長であれば理由は多分これでいいと思うんですけどだからその現行の組織体制を反映するというようなニュアンスっていうかねというようなことが読めるような、ちょっと修正ですかね。
0:54:57	をお願いできればなとは思ってはいます。
0:55:01	それは可能でしょうか。
0:55:04	はい。特別管理センターの長井です。その形で修正させていただこうと思います。
0:55:11	作成者那須ありがとうございます。
0:55:13	続きまして今回全体的に申請書の構成を見直していただいている障害対策所とか安全対策書っていうのを現行の
0:55:26	地域的ヌーの基準規則のよの解釈様式を合わせて
0:55:33	いろいろ作業いただいていると思うんですけども、共通編の別添書類とか、種類3っていうのが
0:55:42	細かい話なんですけど位置付けが、まだ、
0:55:46	動いてるかなって感じがしてて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:49	なのでは共通編の 12-1 か 2 辺りで、
0:55:54	この共通編の障害対策と安全対策所を読み込んだには、現行の所、共通の障害対策と安全対策小については共通のところ、
0:56:06	しか書かれてないので、
0:56:08	どちらかに組み込むということは、
0:56:14	可能なのかなとは思っているんですけども、そのあたりは、
0:56:21	どうでしょうかということなんですけど。
0:56:30	格別管理データナガイ率、ちょっとその記載内容につきましてはちょっと
	と
0:56:36	こちらの方で、ちょっと少し検討させていただこうと思いますのでちょっと今すぐ返答できないんですけども、検討させていただこうと思います。
0:56:45	原則成長谷津承知いたしました。続きまして、
0:56:57	5 ページですかね資料の 5 ページの注射腔のところを追記いただくって いうところでこれは本店です。
0:57:07	規定されている内容と同同等というふうに理解しております。それは間違いありません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:15	はい。格別管理センターの長井です。同等のものを記載させていただきました。
0:57:21	岩瀬です承知いたしました。
0:57:26	続きまして、
0:57:31	この一つ目の資料については以上ですかね、当面についてはいろいろあります。
0:57:38	続きまして
0:57:41	もっと
0:57:50	はい。そうですね続きまして
0:57:53	戸部。
0:57:54	千野市野。
0:57:55	別紙 10、は別紙の方の資料について説明をいただいたので、
0:58:01	それについて確認をしたいんですけども。
0:58:04	まずは新分析等は今回変更があるので、変更、
0:58:09	を踏まえた内容に沿って 11 項の記載をしていただいております、保障措置分析等々開設検討については今回変更が内容の変更がなくて、
0:58:21	現行の記載をもとに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:24	書いてある様式に合わせて書いてるだけであって特に許可の内容に変更 ないというふうに理解しておりますけども、それはそういうことでよろ しいんです。
0:58:36	はい。特別管理データのナガイです。その認識で間違いございません。 原則、ちょっと確認ですけども、まず閉じ込め心分析等のとじ込み機能 についてですけども、
0:58:51	概ねこれこれは私がコメントした内容は生かされてるかなとは思っては いるんですけども、
0:59:00	クローム形成をして、
0:59:08	ないんです。
0:59:10	遮へいのところなんですけれども、ちょっと新パーセントはまあいい よ。
0:59:16	良いかなと、こういう感じ。
0:59:19	ですけどもちょっと
0:59:22	保障の分析等のところがちょっとマスキングなので、イエスかノーかだ けをちょっと答えていただければと思うんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:30	評価結果兵庫では 1.34mmシ技術 3 ヶ月の管理区域の評価ですね、1.34 mSv であるが、
0:59:42	諸条件を考慮するとうちミリシーベルトパー3 ヶ月間で下がる。
0:59:48	それでできるので線量限度 1.3 を下回ることと、
0:59:53	という
0:59:54	説明されてますけどその N - S っていうのは我々の
0:59:58	申請書の中で、推定、泊幹線がこういうふうに推定してることのエビデ ンスっていうのは我々の申請書審査書類の中で、
1:00:10	判断でき、
1:00:12	ますでしょうか。
1:00:14	ちょっと内容がちょっとマスキングなのでイエスカノーかだけで答えて いただければ場所とか
1:00:21	言えないと思いますので、
1:00:26	その内容が我々が確認できるものになってるのかって今の現行の申請書 とかで確認できますでしょうかというご質問
1:00:35	答えられる範囲でいいんだっけ。
1:00:45	はい、格別管理センターの長井です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:49	先ほどのご質問につきましてはですね、
1:00:53	後ろのページに書いてあります、天野松木はしておりますが、一応その内容から製作することができます。
1:01:01	次の対応、説明することできませんが、その渥美の熱田の話
1:01:08	南波石田という形で計算をさせていただいてこの結果が出てきますので、資料、
1:01:16	見ていただければ計算はできる。
1:01:57	あ、はい。フェール網です資料見たら
1:02:02	くにできるということは、承知いたしましたのでこちらの方で確認しようと思っております。
1:02:11	特別管理センターの長井です。すみません。衛藤。
1:02:14	資料を見れば、11項に記載することで、お伝えしますので、投票様式12-1にですね、核燃料の種類ごとの線量評価等を記載させていただいて、
1:02:32	その評価表から、次の何倍という形で評価することができますので、規制庁の方の方でも、計算をすることがあろうかと思われれます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:44	作成しご説明ありがとうございました。こちらの方で資料を基に確認させていただきます。と思います。
1:02:50	いずれにせよこれらの評価を今回新たに新たにという記載は新たにしますけれども、
1:03:00	保存してる物質とか、廃棄物というのは変更ないのでいわゆる評価の状態も先ほどご答弁をされましたけども、火花状態から変更はないっていう理解はしてますので、
1:03:12	す。
1:03:15	そういう理解でよろしい。いうことでよろしいですか。はい。
1:03:22	はい。確率管理センターの長井です。基本的許可から変更重量等の変更はございませんので、間違いないという評価で、はい。
1:03:31	で問題ありません。
1:03:33	江崎さんのやつ承知いたしました。
1:03:37	続きましていろいろ今回追記いただいて、ありがとうございます。ご対応いただいております。
1:03:45	ところで、一つちょっと気になってる。ちょっと別紙 11 だけ別紙の 10 行だけがちょっと見えなくなっちゃうんですけども

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:55	8番で清水3ページ目の(8)受信ところなんですけれども、
1:04:00	ちょっと本部の喜多伊井を多分修正後のところで多分引っ張ってきていると思うんですけども、
1:04:08	多分、建物とか、常に既設のものは多分この
1:04:13	いわゆる昔のですかねこの安全審査指針とか、マンネリと指針。
1:04:18	だから審査自身を参考にして設計されてると思うんですけども今回特に ですね、今回構成するブロック損、もちろん
1:04:31	就業規則というか基準規則っていう位置構造の取得、主要施設等の位置 構造設備に関する規則。
1:04:42	とその解釈に耐震の便器ってのがあるんですけどもそれに基づいてやら れていて、それに基づくクラスで今回も
1:04:54	グローボックスとか指導設計は設計されてるとそういう理解はしてるん ですけどもそれはそういう理解でよろしいんですか。
1:05:09	はい。はい。
1:05:12	核物質管理センターの長井です。
1:05:16	一番最後に説明した耐震部の設定という形で、説明をさせていただい て、いただいた通りですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:24	王妃厳しい被ばくを、もしも事故が発生したとしてもですね新設の施設 分析で系統につきましては、
1:05:33	周辺タンク周辺の一般公衆に対して著しい被ばくを与えることはない という方という考えなので、これらについては耐震分類Bクラスを設定す るという形で、
1:05:44	評価をしておりますので、新規制基準の考えを基づいて、評価をして、 審議役としております。
1:05:53	原子力青少年家です。あれば、ちょっと何か、
1:05:57	書き分けることって可能ですか。多分もう既設のやつはもう、もうすで に建設されて建物とか建屋ってのはもちろんこの昔に建てられたもので 昔の安全、
1:06:07	審査指針を作ったっていう事実には変更はないと思うんですけど も、
1:06:14	今後のもの、今後追加されずそういうような感じにするっていうふう に読めちゃうので、特に今回はグローボックスを2クラスとして、構成 するって話なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:27	今後、例えばそんな、今後、追加する設備についてはもちろんその主要施設等の位置構造、
1:06:36	及び設備の基準に関する規則に基づいて設計、
1:06:40	それからそういうような、
1:06:44	何か書き分けってうかねってうのはできたりしますか。
1:07:02	核物質管理センターの永江です。先ほどご説明いただいた通り、新規性基準の部分につきましては、書き分けることをちょっと考えておりますがちょっと、センター内の方で少し検討さして、その辺また返答させていただこうと思います。
1:07:17	作成者ですご検討よろしくお願いいたします。
1:07:23	言わして、
1:07:33	少々お待ちください。
1:09:09	すいません。原子力規制庁のマスミです。
1:09:15	皆勤分類の設定についての方の資料についてちょっと、
1:09:19	確認させ
1:09:22	たいと思います。
1:09:27	まず 2 ポツのところでは最大想定事故時の影響という古藤なんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:36	こちらの最大ごめんなさいちょっと申請書、
1:09:41	詳しく確認すればいいんですけど、ちょっとこの場で確認させていただきたいのは、
1:09:47	事故の想定、
1:09:49	の時に、そのグローボックス。
1:09:53	2台の取扱制限、プルトニウム 1.01 グラムっていうのが何らかの放出をされるということだと思いますが、その時の
1:10:06	期待している、その他の安全機能ですね、会計ですとか、
1:10:13	その辺の想定についてちょっと教えていただけますか。
1:10:32	核物質管理センター少々お待ちください申し訳ありません。
1:10:54	核物質管理センター長井です。先ほどの
1:10:59	事故時の想定ですけれども、
1:11:05	グローボックス内にですね、その取扱量の 1.001 グラム、小規模申請書には 5 グラムと書いてありますが、
1:11:16	その 1.011 号のプルトニウムがか。グローボックス内で火災が発生しまして、グローボックスが破損して、
1:11:24	プルトニウムが室内に飛散します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:27	その後、排気塔から屋内から排気塔に漏えいしまして周辺環境に防止するということを想定して、最大事故として
1:11:38	評価し、条件設定をして、
1:11:41	一般公衆への影響評価をしております。
1:11:45	その際ですね、空気中への移行率は1%、100分の1で、
1:11:51	その排気塔の部分につきましては、高性能エアフィルタの就航率、
1:11:57	1段目を発音して、2段目のフィルターの値が99.9%と想定いたしております。
1:12:04	排気塔の高さは地上20メートルで、風速2メートル、風向頻度100%、大気安定度として火災の継続時間1時間という形で条件設定をして評価をしております。
1:12:25	以上となります。はい、原子力規制庁マスコミ承知しました。
1:12:30	もう1点ですね、
1:12:33	安全、安全上重要な施設がないかどうかという時の評価。
1:12:41	その時の想定っていうのは、やはりフィルターはある程度期待してたりするんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:57	はい、えーとですねここにちょっと5年ですね、新規制基準の評価報告書の場合においてですね、想定した安全上重要な施設を選定する際の事故時の評価条件ではですね、
1:13:09	室内に漏えいしたプルトニウム等の核燃料物質は、扉等を介して地上に空気中周辺環境中に放出されるという評価をしております。
1:13:27	原子力規制庁マスマスミですわかりました。はい、ありがとうございますました。
1:13:37	減少傾斜です。この前の面談でも話しましたが、安全報告の対象を主にせるホットセルとかそういうような中身が対象で、今回の設備はへに
1:13:50	カレグローボックス立入でしたよね確か。
1:13:54	何か違う。
1:13:58	確かあの安全報告の、
1:14:00	対象。
1:14:02	というか何かその孔口設備になってたんですけど。対象園安全報告になる候補となる設備って云々かんぬんみたいな。
1:14:13	管理にはならないって話じゃなかったですね前回の面談によると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:19	はい。核物質管理センターの長江です。新規制基準、次の評価報告書においての対象施設、施設につきましてはちょ、新分析当初動向、
1:14:31	放送部分析屯所動向あと新分析等のプルトニウム化学分析数がホットセル、この
1:14:37	グローブ及び貯蔵後核燃料費の一番多いものという形で評価対象になっておりまして今回のグローブボックスは、評価対象外という形となっております。
1:14:50	職制者ですとなると今の多分別紙っていう、今回の三つ目の資料で説明されてるのは、どちらかという通常っていうか
1:15:03	設計基準事故が起きた場合の五味に行きませんよっていう評価で、安重評価と比較しても安全評価で対象としているような、
1:15:13	設備よりも少ないプルトニウム量なので、包含されるということで結局結局安全報告で安重がないというような報告になってますんで、それも踏まえて、安重でもないし、
1:15:27	その当該設備で設計事故が起きても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:32	どこに越えないと迷って安重でもなくて、どこも聞こえないからBクラスですってというような、そういう御説明っていう理解でよろしいですか。
1:15:43	はい。格別管理センターの長井です。その認識で間違いございません。
1:15:48	予測精度やです。
1:15:51	今回の面談で何点か指摘をして、検討されるっていう点があったと思うんでその辺も含めて、
1:16:01	なお書きなのか3ポツのかしらないですけどもう1回、このいただいている資料を安重との温情報告書との兼ね合い今ご説明させていただいた、
1:16:11	内容、
1:16:14	でいいと思うので、補足というか、追求していただくことっていうのは、追加で説明していただくことってのは可能ですか。
1:16:26	はい、核物質管理センターの長井です。はい。この内容で追記させていただく方向で修正させていただこうと思います。
1:16:34	原則成長の数。それではよろしく願いいたします。
1:16:41	ここ、こちらの指摘は本日これで以上になりますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:47	我々からの指摘内容については本日まとめさせていただきたいと。確認事項はもうそれで終了なので後、今後ご対応いただけると言われたところについてはまとめさせて、
1:17:01	いただければと思います。
1:17:03	まず1点目修正いただくってところになったのは共通編の組織改正のところについては現行の組織の反映であるっていうようなところがわかるようにしていただくというところ。
1:17:16	2点目が障害で、共通の障害対策する安全対策書の位置付けについてもベッセIIにあるような障害対策所と安全対策所のように、
1:17:28	添付書類等と
1:17:31	ひもづけることができるかどうか検討をしていただくということ。
1:17:36	あとは、
1:17:39	二つ目の資料の11のところの耐震のところですね。
1:17:44	耐震地震による損傷の防止のところでは古い既設の設備は昔の英断審査指針という形で、今後というか今回、すべては
1:18:00	新しいというか、主使用施設等の位置構造及び設備基準に関する規則に基づいて、基づくBクラスであるということ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:09	が書き分けるかどうかを検討いただけるということ。
1:18:13	あとは最後のこれは面談後になるんですけども耐震部の設定について安重今回構成するアンジュ方針5によっても安重ではないことっていうの 饅頭報告書。
1:18:27	その整理を踏まえても追記いただくということ。以上が我々からの指摘 と思っておりますけれども、
1:18:36	認識は間違いないでしょうか。
1:18:42	はい確立管理全体の流れです。その認識で間違いございません。
1:18:47	職制者の米津それでは最後に特別管理センターさんから何か質問等ござ いますでしょうか。
1:19:05	はい。格別管理センターの長井ですけれども、今回、11項目の部分は別 紙別紙11で説明させていただきましたが、12項目の部分につきましては は、殊、12-1、すみません、12-1の項目につきましてははですね、
1:19:21	ちょっと今作成途中でございますので、我々の方から作成次第、
1:19:26	その案ををそちらに送付させていただくような形で確認をいただくとい う方がよろしいでしょうか。
1:19:35	不正じゃないです事前にいろいろ、もう1回

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:40	面談をスルーことになる、なっていると思い、今そこん時の上なんで指摘というか検討いただくようお願いしたところがあってその回答とともに。
1:19:53	確認できればなどは思っていますけれどもそれでよろしいですかね。
1:19:59	はい。その形で次回面談時にその可能な限りその案を作ってその椎野さんに説明させていただこうと思います。
1:20:10	職制社員です。了解いたしました。
1:20:14	その他ございますでしょうか。
1:20:21	はい。格別管理センターナガイで江藤加来はセンターとしていたしました。それ以外にご質問等ありません。
1:20:30	作成GIS承知いたしましたそれでは、次回の問題なんですけど今先ほど資料を作成されるとか検討されるというようなお話ありましたけれども、
1:20:40	どれぐらいの時期というか、時間っていつのか、
1:20:44	3週間
1:20:46	補正の時期とかもあると思いますので、なるべく早めに
1:20:51	我々としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:52	用意できたかなと思って用意というかできたかなと。
1:20:58	どれぐらいの時期になりそうですかって今のところ何かありますか、予定というか、
1:21:37	作業室管理センターナガイですけども、
1:21:41	我々の希望といたしましては、7月4日の週の後半ぐらいが、
1:21:47	お願いできればと考えております。
1:21:51	初生者のS Aと承知約2週間後ぐらいにもう1回面談をやってっていう話ですかね。承知いたしましたそれではその辺りでまた進めていきたいと思えます。
1:22:05	それでは本日の面談はこれで終了いたします。
1:22:10	ありがとうございました。
1:22:13	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。